

令和5年度 南城市幼小連携事業
【大里南小学校1年生授業参観及び振り返り(意見交換)換記録簿】

1 日時 令和5年5月16日(火) 8時10分～9時30分・15時30分～16時45分

2 場所 南城市立大里南小学校 一年生教室・図書室

3 授業者

1年担任：上原(1組)、玉城眸(2組)、富里雅美(3組)、上原椎乃(4組)、岩切隆成(5組)、
崎山奈津子(6組)

4 参加者 公開授業(24名)、振り返り・意見交換(26名)

こども園(9名)、保育園(11名)、行政(7名)、大里南小学校(8名)

5 授業の振り返り

1組担：全体的な振り返り

・入学当初から、スタートカリキュラムを実践。最初の頃は、のんびりタイム、なかよしタイムとゆるやかに小学校に慣れるように実践してきた。

南城市のカリキュラムマネジメントを使用している。

・今年度は、校内研修でテーマ「主体的に学ぶ児童の育成」で進めている。

・生活科「わくわくどきどきガッコウたんけん」 3回目

今日は、子ども達で、グループで歩く。

・探検1回目は、たんけんの約束。環境だけに教師は目がいきがちだが、児童の心情にも目をむけた。

・今日の探検は、日曜日の授業参観のあとの月曜日だったが、心情にせまる言葉かけをした。

2組：授業が始まる前に、読み聞かせをした。今日、泣いている子、ちこくの子がいた。

読み聞かせをしているうちに落ち着いた。

・生活の授業の反省。〇〇があったよ、と子どもの声は環境の気づきが多かった。

3組：回る所、前回の2回と同じようだったが、教室に帰ってまとめるところが、授業が終わり10分になっていた。

4組：探検に行く前に、感覚カードを使って(目・耳・鼻・さわる)など五感を使って学校探検をするようにした。点検後は付箋に書く時間が足りなかった。

5組：子ども達が緊張していて、発表の場面では、いつもよりは発表がすくなかった。

先生が引き出せなかった。

6組：歌を歌って学校探検をした。

あっちに行こう。先生方と関わる時間ができてよかった。



6 参観者の声（保育園、こども園等の先生方の声）

<子ども達の活動の様子>

- ・教室の奥まで入っていく時に静かに入っていた。場に応じた行動を見ることができた。短期間でこのように成長が見られて感動した。
- ・質問、学校探検の授業は、毎回6クラスが一緒に行動しているのか？迷子になっている子が見られたため。1回目は、2クラスずつでおこなった。2回目は公開授業があるため一緒に行動した。
- ・絵本の読み聞かせをした後に、絵本を廊下と教室の間に置いていた。興味を示した子は休憩中に絵本を見ていたので、環境的によかったなと思った。5組、ウクレレを支援員の方が弾いていたので、とてもいい雰囲気だった。紙飛行機で遊んでいた子、先生の一言で席に戻っていた。話をきちんと聞いていたので良かった。
- ・4くみの紙飛行機をしていた子がいたが、先生が声をかけることで、グループに座ることができた。
- ・子ども達が笑顔で授業を受けていた。朝顔を育てている。先生方が朝やることを絵表示を作り黒板に掲示してあった。
- ・学校探検で、パット走っていく子がいた。もっと目的意識をもたせていた方がいい。他のクラスに邪魔にならないようになどの約束をした方がいい。
- ・新園舎のため、園の地図を作ろうというきっかけができた。絵を描くことも、写真や絵は先生が役割を行う。完成した地図は、保護者に掲示する。今日の1年生の活動が繋がっているなど感じた。集中力をどう促しているか？どのような声かけをしているのか？探検後、グループでの活動（振り返り）を行っている姿、友達関係の姿、仲間意識が見られたグループもあり良かった。

*集中力・・・4組さん、集中が途切れやすい配置となっている。

「廊下に人が通っても最後まで話を聞けるのが1ねんせいだよ」と促している。

<その他・気付いたこと感想>

- ・あいさつが形式になっている。あいさつに気持ちが入っていない。あいさつは型にはめない。
- ・付箋で文字を書いていた。1年の今で文字に対しての苦手にならないか？言葉ではなく、絵で描いている所もあった。字でなくてもいいのではと思った。
- ・先生の声のトーン、関わりが良かった。文字や絵カードを使っただけの授業が良かった。
- ・授業が終わる時に次の授業の準備をしての休み時間にはいていた。
- ・楽しいことがまっているよと期待を持たせる、言葉かけをしていた。
- ・環境構成、机の配置が各クラスで違っていた。端っこを内側に並べているクラスでは集中できるように感じた。
- ・絵本を読んで集中したい時に、隣のクラスが通ったりする。集中させる声掛けや取り組みはどのようにしているのか？
- ・4組のグループでまとまるところで、安心する。

Q集中力のために・・・A：4組のクラスは集中が切れやすい時に「先生の話最後まで聞こうね」「人が通っても集中していこうね」と声を掛けている。

こくご、さんすう、どうとくは支援学級で。その他は親学級で過ごす。親学級にもどる時は、情緒学級の先生が各クラスを回っている。

- ・授業の視覚教材の工夫がよかった。やくそくごとの工夫があった。
- ・援助が必要な子のサポートを友達がやってくれていた。
- ・掲示物の高さをもう少し低くするとよい。（一年生の目線に合わせる）
- ・新園舎のため、我が園の地図を作ろうということになった。子ども達は絵を描く、写真やその他は先生が役割を分担。完成した地図は、保護者に掲示する。今日の1年生の活動が繋がっていると感じた。集中力をどう促しているか？どのような声かけをしているのか？探検後、グループでの活動（振り返り）を行っている姿、友達関係の姿、仲間意識が見られたグループもあり良かった。

・のんびりタイムでは、もっと遊びがあっても良いと思う。4月（のんびりタイム）でいっぱい遊ばせ、授業では、子ども達の意見を聞いてあげる等。

*グリーン広場での遊び方、小学校でルールが決まっているため、全職員で検討していく。

・幼児教育で大事にしている事は、子ども達に気付かせたり、気持ちを引き出したりする事を大切にしている。6組の探検掲示では、ドキュメンテーションのように絵や字で書いていて良かった。

・1年生の授業参観を毎年行っているが、振り返りが実施されていなかった。幼児教育施設の施設長、職員、小学校校長、教頭、1年生職員が対話を通じた幼児教育の繋ぎや学び合いをすることが大事である。スタートカリキュラムを1年生の担任のみが理解しても意味がなく、小学校全職員がスタとカリキュラムを共通理解する、把握するなど全体で取り組む必要がある。

・Q教室の入口に、立ち止まり挨拶の表示があるのは、何のためか？

A遅刻した子が黙って入室している。道徳の授業にあいさつを学んでいるため、あいさつの大切さを目的に表示している。あいさつを躊躇している子もいたので、子どもに合わせた対応をしている。自分で気づいてあいさつができるように、自立に向けた環境。

